

2026 年度

文学部 国際日本・中国学科総合型

(小論文型)

**【小論文】**

60 分 100 点

※①漢詩・漢文／②論語／③三国志の3つの中から1つ選択し、解答すること。

## ①漢詩・漢文

問題 次の文章を読んで、設問に答えなさい。(100点)

生きていると、いろんなことが移り変わる。移り変わるといふ摂理には、いいこともあるし、またそうでないこともあって、たとえば子どもころのあそびを年老いてなお楽しめるとしたら、それはたぐいまれな幸福の部類に入るだろう。

楽しみを書く 陸游

書適

この老人は七十も近いのに  
じっさいはまるで子どもだ  
山の実を泣いてほしがり  
鬼<sup>\*</sup>やらいの列に笑ってついてゆく  
みんなとわいわい瓦の塔をつんだり  
ひとり庭の池に影をうつしてみたり  
そして小脇にはさんだぼろぼろの本をめくる  
まるで学校に入りたてのころのように

老翁垂七十  
其类似童兒  
山果啼呼覓  
鄉儻喜笑隨  
群嬉累瓦塔  
獨立照盆池  
更挾殘書讀  
渾如上学時

いつもすてきな南宋の詩人、陸游の詩。人生の長い道を歩いてきた陸游が晩年にたどりついたのは、幼い日のように本を読むことだった。それは郷愁に身をゆだねつつ、まっさらだったころの感覚をくりかえし味わうあそびだ。本の中にひろがっている、忘れられた世界の素顔といくども出会い直すこと。そして世界を知る歓びとともに、夏の緑陰のような深い悲しみを、覚えた言葉の数だけはぐくむこと。

〔小津夜景』いつかたこぶねになる日』による〕

(注) \*鬼やらい 疫鬼<sup>えきき</sup>を追いやる行事。

問一 この詩にうたわれている老人の無邪気さについて、あなたの感想を三〇〇字以内で述べなさい。

問二 あなたが一冊の書物を複数回読み返した読書体験について、具体的に三〇〇字以内で述べなさい。

※①漢詩・漢文／②論語／③三国志の3つの中から1つ選択し、解答すること。

## ② 論語

問題 次の文章を読んで、設問に答えなさい。(100点)

子貢友を問う。子曰わく、「忠告して善を以て之を道く。不可なれば則ち止む。自ら辱めらるること無かれ」と。(顔淵篇)

子貢問友。子曰、忠告而以善道之。不可則止。無自辱焉。

【口語訳】子貢が友人関係について先生に尋ねました。先生がおっしゃいました、「忠告して善に向かうように導きなさい。それができないと分かった時には忠告を止めなさい。聞き入れられない忠告をして自分を辱めることのないように」と。

【解説】友人という人間関係についての話である。ここで孔子先生は特に友人との距離について述べていた。親しい関係においても、お互い善い方向に導き合うようであればならないと。それができない友人は友人ではないのである。そんな誠意が伝わる相手とのみ友という人間関係が築けるといふのだ。このことは、SNSなどで口当たりのいいコミュニケーションを交わしたり、あるいは逆に攻撃的な言葉を向けたりする今日のインターネット社会では、極端に言うならば友達なんて要らないのかもしれない。少なくとも、甘え合えるような人間関係は必要ないだけでは言っているのだろう。そんな孤立にも耐えられるしつかりとした自分自身を持っていないらばならないのだ。

(『「論語の学校」時習編』による)

問一 傍線部「今日のインターネット社会では、極端に言うならば友達なんて要らないのかもしれない」とありますが、どうしてそのような結論が導かれるのでしょうか。「口語訳」の中の孔子の言葉も用いて三〇〇字以内で述べなさい。

問二 あなたは今日のインターネット社会では友達は要らないと思いますか。あなたの考えを三〇〇字以内で述べなさい。本文の内容を踏まえて述べても、あなた自身の経験に基づいて述べても構いません。

※①漢詩・漢文／②論語／③三国志の3つの中から1つ選択し、解答すること。

### ③ 三国志

問題 図版 A および『三国志演義』の一節 B に関して、設問に答えなさい。(100点)



©横山光輝・光プロ/潮出版社 横山光輝『三国志』による

B

かくて、左右の者が陣門の外に馬謖を引き出して首を刎ねようとするおりしも、<sup>＊</sup>蔣琬が成都から到着、<sup>＊</sup>刑手が馬謖を斬ろうとする様子に仰天して、

「待て」

と叫び、幕中の孔明に目通りして、

「むかし、楚が得臣を殺して、<sup>＊</sup>文公が喜んだということがごぎります。天下の平定もならぬ今、<sup>＊</sup>智謀の士を殺すのは惜しいことではござりませぬか」

と言えば、孔明ははらはらと落涙して答えた。

「むかし孫武(孫子)がよく天下に勝ちをおさめることができたのは、法を用いることが明らかであったことによる。いま天下が分かれ争い、合戦の休まる日とてないとき、<sup>＊</sup>法度をおろそかにして賊を破ることができようか。ここは斬らねばならぬのじゃ」

(立間祥介訳『三国志演義』による)

(注) \*馬謖 蜀の武将。孔明に目をかけられていたが、己を過信して孔明の指示を無視し、味方を敗戦に導いた。

\*蔣琬 蜀の文官。 \*成都 蜀の都。今の四川省成都市。

\*孔明 蜀の宰相であり、この戦の総大将である諸葛亮の字（本名以外につける呼び名）。

\*楚が得臣を殺して、文公が喜んだ 春秋時代、晋の文公は楚の成得臣の存在を脅威に感じていたが、楚の王が成得臣を自害させたので喜んだ。

\*孫武 孫子。春秋時代の兵法家。兵法書『孫子』で有名。

問一 **A**で孔明は馬謖に対して「お前の遺族は死後も孔明が面倒を見る」と言っていますが、この言葉に表れている孔明の態度とはどのようなものだと思いますか。三〇〇字以内で述べなさい。

問二 もしあなたが能力を高く評価していた後輩や部下が大きな失態を演じた場合、あなたはその後輩や部下に対してどのように対処しようと思いますか。 **B**の蔣琬や孔明の考え方を参考にして三〇〇字以内で述べなさい。